

コミュニティ・スクール

第一回委員会開催

日時 五月九日(土) 十三時十五分より

場所 本校二階ランチルーム

出席者 三十六名

内容・議題

- ① 委員長挨拶
- ② 校長挨拶
- ③ 委員自己紹介
- ④ 学校長より令和8年度の教育活動について
- ⑤ 熟議「多様な学びを実現するための教員・ICS
(支援本部との作戦会議)」
- ⑥ 事務連絡

五月九日(土)、今年度初めてのコミュニティ・スクール委員会が開催されました。初回となる今回は顔合わせや今年度の体制を確認する意味も込めて、本校職員も含め、総勢三十六名での開催となりました。(委員会のメンバーについては、裏面参照)

◆委員長挨拶

昨年度に引き続き、今年度もCS委員長を佐藤香様をお願いしました。佐藤様からは、「非認知能力の育成」についてのお話しをしていただきました。教育には「社会化」の機能があり、特に幼児期〜学童期にかけての非認知能力(マナーや粘り強さ、コミュニケーション能力)などの育成が、その後の認知能力(学力)の向上には不可欠であると強調していただきました。これからも「学校・家庭・地域で知

恵を出し合い様々な課題を皆さんで解決していきましょう。」という力強いお言葉をいただきました。

◆校長挨拶

校長より本校の学校経営方針について説明しました。また、「多様な学びの実現」については、学校だけで課題を抱え込むのではなく、地域の専門性や実体験を教育に取り入れることで、児童と教職員双方が成長を実感できる学校づくりを目指していくと述べました。

◆自己紹介

CS委員の皆様に加え、本校職員もご挨拶、顔合わせをしました。

(元PTA会長・元区議会議員) 茂野 善之さんは今年度よりICS委員となられました。前野小学校の卒業生であり、前野小学校の歴史について詳しくお話をいただきました。また、元PTA会長も務められ、六十周年の周年では、実行委員長をされ長年、前野小学校の発展のためにご尽力していただいています。今年度からは、ICS委員として、「自身の経験を基に子供たちのために力を発揮していきたい。」というお言葉をいただきました。

◆熟議「多様な学びを実現するための教員・ICS(支援本部)との作戦会議」について

新年度が始まって、一カ月が経ち、各学年より要望や具体的な連携案を基に話し合いを行いました。低学年からは、生活科、植物の種まきや町探検の引率、ドッキールームでの見守りなどが挙げられました。中学年からは、社会科の学習で地域の方をゲストティーチャーとして招き昔の前野町についてお話しをしていただくという案が出ました。高学年からは、図工の学習で、彫刻刀を使う際や、家庭科の調理実習や裁縫など経験豊富な地域の方をボランティアとして活用していきたいという案が出ました。各グループともに活発に熟議がされ多くの意見が出されました。これからも、学校を支援する「スクールサポーターズ」を継続的に募集し、ICS委員の皆さんとの情報共有を綿密にしていくことで、学校、保護者、地域が一体となって児童の学びを豊かにしていくという実りある話し合いの場となりました。

令和8年度 CS 委員会メンバー

No.	委員区分	氏名	役職
1	地域委員	佐藤 香 様	東京大学名誉教授、本校CS委員会委員長
2		鈴木 織恵 様	淑徳大学教員
3		茂野 善之 様	元PTA会長 元区議会議員
4		倉持 秀子 様	地域コーディネーター
5		神宮 文子 様	地域コーディネーター、元青少年委員
6		緑川 有紀 様	地域コーディネーター、青少年委員
7		武田 恭子 様	主任児童委員
8		井上 亮 様	PTA会長
9		保科 整 様	エコポリスセンター館長
10		横山 慎昌 様	元PTA会長
11	行政委員	椋本 桜子 様	南前野保育園長
12		石田 真人 様	前野地域センター所長
13	学校委員	斎藤 孝之	前野小学校長
14		鈴木 勉	前野小学校副校長
15		佐藤 旬	前野小学校事務主任
16		本城 直樹	前野小学校地域連携主任教諭
17	オブザーバー	藤本 謙一郎	上板橋第三中学校長
18		山藤 知子	上板橋第四小学校長
19		福島 亜紀	あいキッズ責任者



板橋区コミュニティ・スクール (ICS)

～地域とともにある学校をめざして～

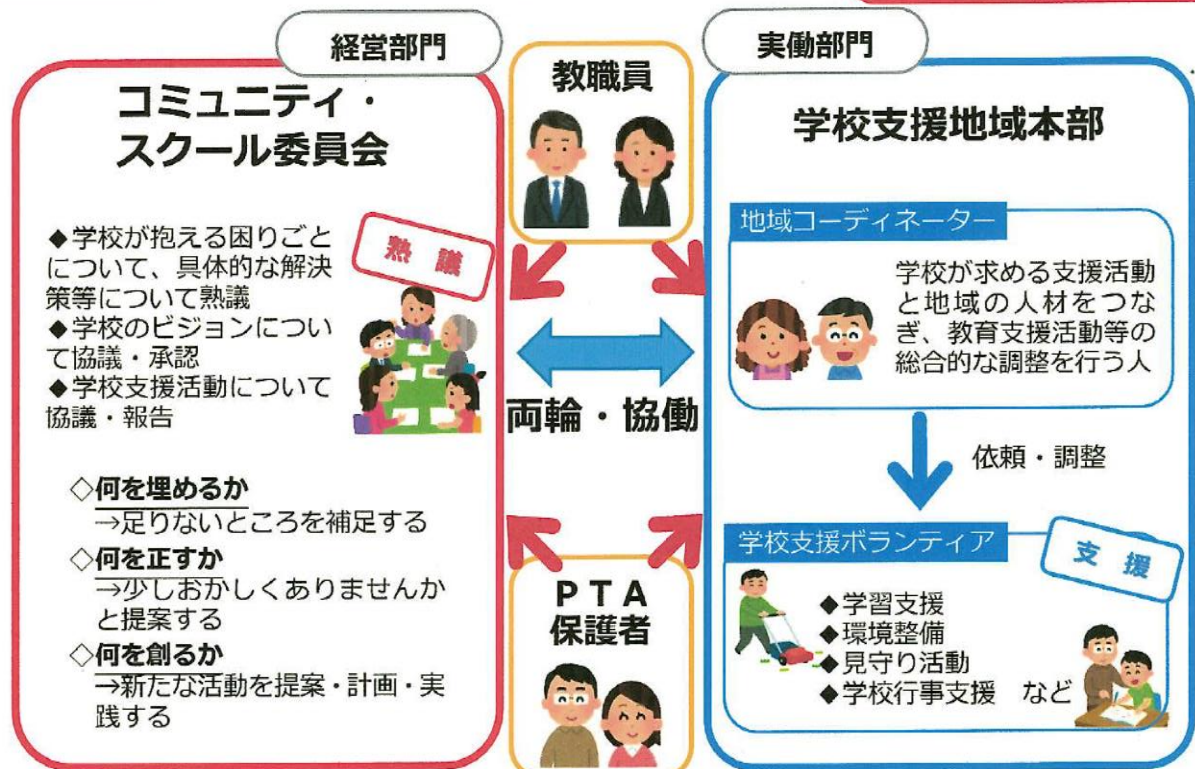
地域に暮らす すべての大人で 子どもを見守る 地域にオープンな学校づくり 「みんなの学校」

合言葉 「“ぶらっと”学校に来て、“ずっと”教室に入って、“そっと”子どもに寄り添う」

ICS とは

コミュニティ・スクール委員会と学校支援地域本部を
「両輪・協働」の関係で運営する仕組み

めざす姿
地域とともにある学校



学校を支える地域人材・地域団体
【学校開放協定会、青少年健全育成地区委員会、民生・児童委員、おやじの会等】

長期的視点 (Long-term Perspective)

ICS の仕組みを活用し、様々な取組を学校・家庭・地域が一体となって行うことで…

学校	子ども・保護者	地域
地域の力を生かした学校運営、子どもたちに向き合う時間や質の高い授業づくりのための時間の確保	地域の中で子どもたちが育てられているという安心感、地域愛が育まれ地域を理解	子どもや保護者が地域を理解し、学校を核としたつながりが強化

地域コミュニティの活性化

熟議運営のポイント (Key Points for Mature Discussion Operation)

- 「より深い相互理解」「より効率的な共有の場」をめざす。
- ・全員が発言できるようにする。傍観者を作らない。
 - ・全員が平等の一票であり、特定の人の意見に流されない。
 - ・話し合いを可視化し、合意形成のプロセスを大切にする。